



松ヶ崎だよい

2月号

平成30年2月1日

京都市立松ヶ崎小学校 校長 北川 知世
京都市左京区松ヶ崎堀町40
TEL.075(781)3380/FAX.075(781)3252
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>

家庭数配布



～学校教育目標～

豊かな心をもち

生き生きとたくましく

共に学び合い高め合う子

2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」

京都市では、「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」において、毎年2月5日を「憲章の日」として定め、子どもを笑顔で温かく見守り、地域や社会の宝として大切に育む「はぐくみ文化」が息づくまちづくりを進めています。

京都はぐくみ憲章って……………?

京都には、子どもを社会の宝として愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは京都市民の使命です。

大人は子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに 対して、毅然とした態度で臨む必要があります。

わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人との絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。

子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。

子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。

子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。

子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。

子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

日常生活の中で、何気なく実践している子どもとの関わりが、「はぐくみ活動」であり、「はぐくみ文化」を創造していく源となっています。

身の回りにある「はぐくみ文化」を発見してもらい、身近に感じていただき、すでに実践している「はぐくみ文化」を展開し、新たな「はぐくみ文化」の創造につなげていくことができるよう、平成29年度のテーマを「Let's はぐくみアクション!」としました。

- 体験活動の機会を増やすとともに、危険を未然に防ぎます。
- 社会のルールやモラル、マナーを守り、子どもの模範となるよう努めます。
- 子どもと一緒に体験し、親とともに育ち学びます。
- 「早ね・早起き・朝ごはん」や読書、家族共同での家事を推進します。
- 互いの挨拶・声かけを行うとともに、課題を抱える子どもと家庭を支援します。
- エコライフや真のワーク・ライフ・バランスを進めます。

※「京都市子ども若者はぐくみ創造推進室」より

保護者や地域の皆様におかれましても、行動指針の中から取組項目を選んで実践を進め、子どもを健やかで心豊かに育む社会の構築を目指ていきましょう。

「お正月を楽しもう会」 1月13日（土）

新年の伝統行事を体験し、お正月をみんなで楽しみ祝うことができればと、今年も恒例の「お正月を楽しもう会」を行いました。よいお天気に恵まれ、運動場で、おもち焼き、どんど焼き、昔遊びを楽しみました。

PTA本部役員、おやじの会、保護者ボランティアの方々にお世話になりました。

大人の方についていただきて、七輪を囲み、一人3つのおもちをいただきて焼きました。炭がよく熾っておもちが真っ黒になったりもしました。焼きあがったおものは、醤油味、さとう醤油味、きなこ味とお好みで、おいしくいただきました。

書初めやしめ縄飾りはどんど焼きに。そして、コマ回しや、羽根つき、けん玉…をして遊びました。楽しい半日を過ごすことができました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



「避難訓練」 1月18日（木）

避難訓練を行いました。

ねらいは、

- ・災害の状況を判断して冷静に対処し、規則正しく早く安全に避難する態度と習慣を身に付ける。
- ・放送による合図や指示に従って整然と行動し、互いに協力し合う心構えを養う。

年に何回か避難訓練を行っていますが、今回は、震度5弱の地震が発生し、その後、給食室より出火したとの想定。子ども達は、放送を聞いて、先生の指示に従って、行動していました。

3年生は、その後、「警察署機能移転等訓練」に。毎年3年生が参加させていただいている。

これは、地震が発生し、余震等で、校舎が倒壊する恐れがあり、緊急避難先の運動場にも影響があると予測されるため、広域緊急避難先である宝ヶ池公園球技場に避難するとの想定で行われました。

警察官の誘導のもと、宝ヶ池公園球技場に行きました。そして、災害救助犬による救出訓練や、ヘリコプターからの降下訓練を見せていただきました。また、パネルや災害車両等の自由見学もさせていただきました。



「人権参観・懇談会」 1月19日（金）

人権参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。

京都市聴覚言語障害センターより三ツ谷直子さんを招いて、お話を聞かせていただきました。

街で聞こえない方に出会った時に、ぜひ使ってほしい手話も教えていただきました。

後ろから声をかけて反応がなかったら、耳が聞こえないのかなと、想像してほしいとも。

「京都市手話言語条例」の施行について

京都市では、平成28年3月25日、「京都市手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」（手話言語条例）が提案され、4月1日に施行されました。

この条例では、手話への理解促進・普及をすすめ、全ての人が相互に人格を尊重することを基本理念に、豊かな共生社会を実現することを目指しています。

「手話は言語」です。手話の輪が広がるとよいと思います。



スチューデントシティ学習 生き方探究館 1月24日（水） 5年生

責任あるひとりの大人として、買い手側と売り手側の両方を体験できるプログラムです。目的は、

- ・会社間取引や、個人と社会はみんなつながっている「共存社会」であることを学ぶ。
- ・活動を通して気付いたことを実行し振り返って生かしていく。それを繰り返す。
- ・仕事を学ぶのではなく仕事で学ぶ。
- ・あいさつ、時間の管理、言葉づかいなど、日常生活につながることを学ぶ。子ども達は、13のブースに分かれ、体験をしました。



体験を重ねるごとに、笑顔で接客できたり、大きな声で、商品の説明ができたり…。子ども達にとって、貴重な体験となりました。

お手伝いしていただきました、ボランティアの保護者の皆様、
ありがとうございました。



「研究発表会」にお越しください 2月6日（火）公開授業：14:00～14:45

研究主題：主体的に学び、自分のおもいや考えを豊かに伝え合う子の育成

～協働的に学び合い高め合う学習を通して～

国語科を研究教科に取り上げ、自分のおもいや考えを豊かに伝え合う子の育成を目指して、研究を深めてきました。2月6日に研究発表会を行います。なかよしルーム、1～6年の各1学級が授業を公開します。ご多用の中とは思いますが、ぜひ、授業参観にお越しください。

学年・組

学年・組	单元名
なかよしルーム	「聞きたいことを考えて伝えよう～クロスワードパズルを完成させよう～」
1年1組	「おばあさんエプロンでおきにいりの本をしょうかいしよう」
2年1組	「外国の民話を場面の様子を創造しながら読み、『しょうかいフラッグ』をつかって、一番心にのこったことをしょうかいしよう」
3年1組	「斎藤隆介作品を読み、お気に入りの登場人物が出てくる物語を紹介しよう」
4年2組	「登場人物の考え方の変化を読み取り、自分の経験と重ねて感想文を書こう」
5年1組	「物語の特色を捉えながら読み、物語をめぐって話し合おう」
6年2組	「登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう」

2月 行事予定

日	曜	おもな学校行事	保健関係	P T A・地域関係
1	木		B B	
2	金		放ま	
3	土	ぜひ、お越し ください。		
4	日			
5	月		放ま	
6	火	松ヶ崎小学校研究発表会		
7	水		放ま サ/バ	
8	木	3年学年行事③④時間目 食育5－2	B B	P T A運営委員会 10:00～
9	金	6年下中1年生ポスター発表会参加PM		
10	土		応援よろしく お願ひします！	
11	日	建国記念の日 第32回京都市小学校「大文字駅伝」大会 全京都小学生 お話コンクール（京女大）		
12	月	振替休日		
13	火	巨匠展作品作りAM（なR 錦林小） 放ま 伝統文化		
14	水		放ま 陸/卓	
15	木	食育なR	B B	
16	金	6年市内めぐり ALT 放ま	S C	
17	土	左京南支部卓球交流会（団体の部）上高野小		
18	日			
19	月	クラブ活動（最終） 放ま		第3回左京南支部はぐくみ委員研修会
20	火		放ま	
21	水	半日入学（H30年度 新1年生）		
22	木	食育6－1	B B	
23	金	巨匠展鑑賞見学・鉄道博物館見学（なR） ALT 放ま		
24	土			
25	日			
26	月	委員会活動（最終） 作品展		
27	火	参観⑤・懇談会（低・なR） 作品展		
28	水	参観⑤・懇談会（高） 作品展		第2回単位P T A代表者会 10:00～

※B B : フッ化物洗口

S C : スクールカウンセラー

※「お話コンクール」とは・・・

京都府下の全小学校を対象に、半世紀にわたり続いている歴史あるコンクールとして知られています。今年で、59回目を迎えます。児童が自分で考えたことや感じたことを、自分の言葉で発表し、その内容と表現の仕方を評価しようとするものです。本校からは、5名の児童が参加します。